

東洋大学 F D 推進センター  
活動報告書（平成 21-22 年度）



2011 年 11 月

～特色あるFD活動をめざして～

FD推進センター長 神田 雄一

本学における全学的なFD活動は、平成19年度における「全学FD委員会」の発足から本格化し平成20年12月に「FD推進センター」の設立がなされ、現在のFD活動は基盤づくりの過渡期から新たな展開期を迎える時期での活動と位置付けられよう。

昨今の大学を取り囲む環境は非常に厳しく、特に教育に関しては「学士力」あるいは「社会人基礎力」といった言葉に代表されるように学生に必要な学力を十分身に付けさせ、社会に送り出すことが重要な課題となっている。ここでFDの視点から大学に求められていることは次の4点に集約できる。それは、「教員の能力開発」の義務化、大学の「情報公表」の義務化、大学の「内部質保証システム」の構築、さらに新しい「知の創出」による社会貢献である。これらのいずれもがFDの組織的推進に支えられた教育活動の質保証に深く関わっている。

このような環境において平成22年度における本学のFD活動は、教員のみならず職員さらに最近では学生をも含めたFD活動が展開されてきていることは、FDに対する意識の高さをものがたるものとする。

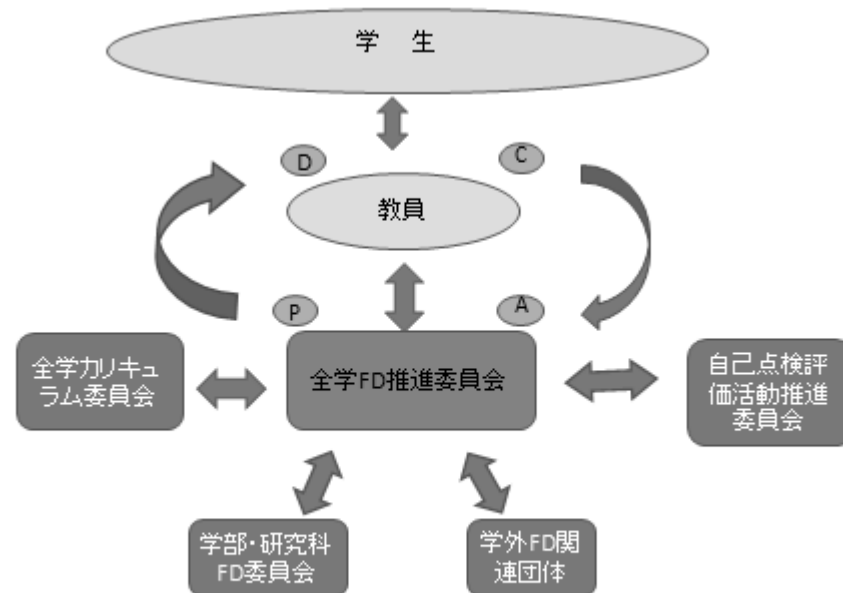
平成21～22年度における全学的なFD活動の主体は、「全学FD推進委員会」が担ってきた。「全学FD推進委員会」では、研修部会、大学院部会、授業改善対策部会、編集部会を組織し活動を展開した。「研修部会」では、新任教員、一般教員、さらにTAのためのFD研修会を実施してFDに関する知識の習得を実施し、研修活動の活性化に力を注いだ。「大学院部会」では、大学院・専門職大学院を中心に、大学院独自のFD活動を展開した。「授業改善対策部会」においては、授業をより良くするために、各学部で実施されている特徴的な取り組みを紹介する「授業改善事例シンポジウム」などにより教授法の改善に向けて努力した。「編集部会」では、本学におけるFD活動を学内外に広報するための『FDニュース』の発行と、教員が授業を行う際の基礎知識やヒントを集めた『FDハンドブック』さらにTAを務める学生諸君のための手引きとなる『TAハンドブック』を発刊し、FD活動の普及と啓発活動に努力した。各学部のFD活動は独自に展開されているが、「学部FD活動状況報告会」を開催し、学部、学科における教育の質保証のためのPDCAについて具体的な活動内容の報告がなされ、それぞれの課題や問題点を共有することができた。FD活動は組織的な活動であるが、トップダウンではなくむしろボトムアップの活動であるべきで、これこそが本学の特色あるFD活動となるべく、学部らしさ、学科らしさを出した独自の展開が求められる。この意味から各学部が独自のFD活動を主体的に実施していることは大いに評価される。

「FD推進センター」は、本学におけるFD活動の継続的な改善の推進と支援をすることが役割であるが、主な活動としては、各部会による活動の支援、他大学・関連組織との連携、各学部における活動の支援、学生によるFD活動の支援さらにFD活動の啓発・HPでの情報公開などを活発に展開した。

本学におけるFD活動は普及したとはいえ、求められる教育力の向上に必ずしも繋がっているとは言えない。今後は、さらなる授業の質の向上、学部・学科・ゼミ間の連携促進、授業評価のフィードバックシステムの確立、事務職員・学生とのコラボレーションの活性化、教員の教育力

の向上、さらにFD活動の成果や効果の評価指標の確立など多くの課題がある。

これらの課題を解決する仕組みとして、教育改善連携ネットワークを構築し、いわゆるPDCAサイクルを着実に実施することが教育の質の保証と向上に繋がり、本学の教育理念を実現する柱になるものとした。



### 教育改善連携ネットワーク・PDCAサイクルの実施

以上

## 目次

### 平成 22 年度 学部 FD 活動状況報告書

文学部	3
経済学部	5
経営学部	7
法学部	9
社会学部	11
理工学部	15
国際地域学部	17
生命科学部	20
ライフデザイン学部	23
総合情報学部	26

### 平成 22 年度 大学院 FD 活動状況報告書

文学研究科	31
社会学研究科	37
法学研究科	41
経営学研究科	44
工学研究科	49
経済学研究科	53
国際地域学研究科	56
生命科学研究科	61
福祉社会デザイン研究科	64
学際・融合科学研究科	72
法科大学院	80

### 平成 21-22 年度 FD 推進センター活動報告

### 関係資料（規程、刊行物）

109